

「阪神市民文化社会ビジョン」阪神北地域フォローアップ指標(平成29年調査分)

目的

- ①「阪神市民文化社会ビジョン」(以下「地域ビジョン」という。)の実現度合いを測る「ものさし」として活用
- ②阪神北地域に住む県民の意識やその変化を把握する資料として活用
- ③阪神北地域の良さ(強み)や課題を知る資料として活用

指標の設定方法

○地域での生活に対する総合的満足度を測る3項目と地域ビジョンの4つの行動目標別に分けた88項目の計91項目を設定

- 「県民意識調査」の項目から地域ビジョンと関係のある57項目を設定
- 統計データ等各種調査から地域ビジョンと関連のある34項目を選定

阪神北地域の特徴

- ①総合的項目では、「住んでいる地域に誇りや愛着を感じる」とする人の割合は70%であり、「住んでいる地域にこれからも住み続けたい」とする人も75%以上で推移している。
- ②「芸術文化に接する機会がある」「住んでいる地域のことに興味がある」とする人の割合は3年連続で全県で最も高く、「週1回のスポーツ実施率」も全県で最も高くなった。一方、「ボランティアなどで社会のために活動している、又はしてみたい」とする人の割合は2年連続で全県で最も低くなった。
- ③「子育てがしやすい」と思う人の割合は3年連続で全県で最も高くなったが、「災害に備えた話し合いや訓練に参加している」とする人の割合は全県値を僅かに下回っている。
- ④「ごみの分別やりサイクルに取り組んでいる」とする人の割合、「まち並みはきれいだ」、「治安がよく、安心して暮らせる」と思う人の割合は全県で最も高い。
- ⑤「企業に活気が感じられる」「商店街や駅前に活気が感じられる」「地元や県内の農林水産業に活気が感じられる」とする人はいずれも昨年度より減少している。

主な指標の動向

総合的項目

指標項目	H29調査値	H28との比較		全県値(H29)との比較		全県順位	昨年度全県順位	昨年順位との比較
		H28調査値	増減	全県値	比較			
・住んでいる地域に誇りや愛着を感じる	70.0%	69.7%	—	68.3%	△	3位	4位	△
・住んでいる地域にこれからも住み続けたい	76.5%	79.6%	▼	77.5%	▼	4位	2位	▼
・全体として、今の生活に満足している	74.2%	75.6%	▼	72.7%	△	3位	1位	▼

多様で個性的なライフスタイルを
はぐむことができる社会をつくる

・住んでいる市町では、芸術文化に接する機会がある	54.2%	50.5%	△	38.9%	△	1位	1位	—
・週1回以上のスポーツ実施率	71.5%	55.7%	△	65.2%	△	1位	7位	△
・住んでいる地域の子どもは伸び伸びと育てている	70.1%	72.5%	▼	65.9%	△	2位	1位	▼
・若者が希望を持てる社会だ	15.9%	16.5%	—	14.3%	△	3位	1位	▼
・社会福祉協議会によるボランティアコーディネート件数	5,018件	5,173件	▼	25,068件	▼	2位	1位	▼
・ボランティアなどで社会のために活動している、又はしてみたい	31.4%	35.2%	▼	35.5%	▼	10位	10位	—
・住んでいる地域をよりよくなり、盛り上げたりする活動に参加している、又はしたい	39.4%	38.0%	△	36.5%	△	6位	7位	△
・住んでいる地域のことに興味がある	79.3%	77.1%	△	71.8%	△	1位	1位	—

自律と協働による
温かいコミュニティをつくる

・住んでいる地域では、子育てがしやすい	59.0%	65.5%	▼	55.9%	△	1位	1位	—
・頼りになる知り合いが近所にいる	63.2%	62.4%	—	63.4%	—	8位	8位	—
・住んでいる地域は、障害のある人にも暮らしやすい	33.5%	39.0%	▼	28.9%	△	2位	1位	▼
・住んでいる地域は、高齢者にも暮らしやすい	51.2%	57.2%	▼	51.1%	—	4位	1位	▼
・年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っている	11.2%	15.5%	▼	11.0%	—	2位	1位	▼
・心身とも健康であると感じる	71.8%	65.7%	△	66.5%	△	1位	3位	△
・家庭で災害に対する自主的な備えをしている	37.0%	43.6%	▼	34.8%	△	2位	1位	▼
・住んでいる地域で災害に備えた話し合いや訓練に参加している	24.6%	22.8%	△	24.7%	—	7位	8位	△

自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する

・北摂の里山を訪れたことがある【独自項目】	50.0%	49.7%	—					
・農と食に関わる活動を実施している直販所(主要な活動拠点)で実施されている活動に参加したい【独自項目】	26.5%	—	—					
・山林や川、海などの自然環境を守るための取り組みに参加している、又はしたい	29.9%	29.2%	—	27.4%	△	4位	10位	△
・住んでいる市町の自然環境は守られている	56.6%	59.0%	▼	46.4%	△	2位	1位	▼
・ごみの分別やりサイクルに取り組んでいる	93.4%	94.6%	▼	89.8%	△	1位	1位	—
・住んでいる地域のまち並みはきれいだ	72.2%	73.1%	—	63.3%	△	1位	1位	—
・住んでいる地域は買い物や通院に便利だ	62.9%	62.7%	—	61.7%	△	4位	5位	△
・住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせる	88.7%	87.6%	△	78.1%	△	1位	1位	—

豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する

・住んでいる市町の企業に活気が感じられる	20.2%	25.5%	▼	24.4%	▼	5位	3位	▼
・住んでいる市町の商店街や駅前に活気が感じられる	22.6%	25.9%	▼	22.3%	—	4位	3位	▼
・地元や県内の農林水産業に活気が感じられる	16.4%	19.7%	▼	19.0%	▼	7位	5位	▼
・地元や県内でとれた農林水産物を買っている	66.2%	67.3%	▼	69.4%	▼	9位	9位	—
・登録市民農園数	⑳ 89箇所	㉑ 101箇所	—	413箇所	▼	1位	1位	—
・住んでいる市町では、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)がある	56.5%	59.7%	▼	53.4%	△	3位	2位	▼
・観光入込客数	㉒ 17,134千人	㉓ 16,620千人	△	138,755千人	▼	2位	2位	—
・商売、事業を新たに始めやすい環境になっている	6.1%	12.5%	▼	8.9%	▼	6位	1位	▼

・【独自項目】は、県民意識調査における阪神北地域の独自調査項目
・全県順位は、県下10県民局・県民センター内の順位

・比較結果において、パーセント表示のものは1ポイント以上の差のあるものを△又は▼で表示